教員の主な研究テーマ

No.	テ ー マ	概 要	氏 名
1	障がい児・者のための効果的 な栄養支援	障がい児・者を対象とした適切な栄養アセスメント、プランニング評価法の検討	大和田 浩子
2	タンパク質の局在化および品 質管理機構	遺伝子情報発現の最終段階であるタンパク質の局在化・立体 構造形式・品質管理機構の解析	成田 新一郎
3	細菌細胞表層の生合成機構	グラム陰性細菌の細胞表層を構成する因子の合成・輸送・高 次構造形成機構の解析	成田 新一郎
4	細胞表層ストレス応答機構	グラム陰性細菌における細胞表層ストレス応答機構とその意義の解明	成田 新一郎
5	咀嚼・嚥下の神経機構	咀嚼運動から嚥下反射に円滑に移行するための神経情報伝達 機構の解明	齋藤 和也
6	流動食の固化防止に関する研究	濃厚流動食同士の混合による固化の防止方法や使用方法の探索	佐塚 正樹
7	新しい流動食の開発	管理栄養士が給食現場で調理できることをコンセプトとした 濃厚流動食の開発	佐塚 正樹
8	食品成分のラジカル消去能の評価	食品成分のラジカル消去能をBiological Antioxidant Potential(BAP)などによって測定・評価	佐塚 正樹
9	管理栄養士養成課程学生のた めの教育	管理栄養士養成課程の学生に必要な教育についての理化学的 な実践と提言	佐塚 正樹
10	代謝量の測定方法	医学的にも信頼できかつ,一般的な医院でもできるエネル ギー量やタンパク質量に関する代謝測定方法の研究	佐塚正樹
11	TEEとNPC/Nに基づくタン パク質量の計算	必要エネルギー量(TEE)を徐たんぱく質エネルギー量の窒素 比(NPC/N)の関数関係でタンパク質量を計算する研究	佐塚正樹
12	職業的社会化の研究	専門職を志望する初学者が、専門領域において共有される価値観を内在化していくプロセスの解明	花屋 道子
13	人間関係トレーニングの活用	人間関係トレーニング・ファシリテータートレーニングに よってもたらされる個人の成長・気づきの検討	花屋 道子
14	疾患別の栄養状態の評価に関 する研究	様々な疾患における栄養状態の評価を検討して、疾患別の各 栄養指標の特徴について考察	小原 仁
15	言語による現実探求としての 生活綴方	生活綴方を中心とした言語による世界構築の可能性とその条件の考察	安部 貴洋
16	健康に関連した脳及び認知機 能と身体機能の研究	運動や栄養摂取の影響を脳機能を中心に生理・ 生化学的指標 や神経心理指標を組み合わせて検討	加藤 守匡
17	運動と栄養による身体機能向 上に関する研究	アスリートも含めた運動能力向上について栄養摂取やコン ディショニングとの関連を検討	加藤 守匡
18	骨密度とその関連要因の地域 差研究	骨に関連した要因の地域差に着目し、骨量獲得の差異のメカ ニズムの解明	大益 史弘
19	若年女性のボディ・イメージ と栄養・食生活	若年女性のボディ・イメージとBMI、生活習慣との関係の検討	新出真理
20	生活習慣病と行動変容	生活習慣病の重症化予防に関連する行動変容を促すための教育方法とその効果の検討	新出真理
21	妊婦の栄養素等摂取状況・食 生活状況と妊娠中の体重増加 に関する研究	妊娠前の体格別から、妊娠中の栄養素等摂取状況・食生活状況と実際の体重増加との関連について検討	鈴木 美穂
22	青年期の食物アレルギーの実 態と食生活状況に関する研究		鈴木 美穂
23	障がい者の栄養管理方法の検 討	知的及び身体的な障がいを持った人の健康・栄養状態に応じた栄養管理のあり方の検討	金谷由希
24	勤労者における適切な食塩摂 取に関する研究	適切な食塩摂取に影響する要因の検討	金谷由希
25	食品成分の変質の分析とその 抑制	食品の変質を抑制する化合物の構造とその併用効果の解析	南 育子
26	食品に存在する危害要因の低 減化	食品成分による過剰な免疫反応誘導の低減化	南 育子
27	地域住民における栄養・食生活と健康づくり	地域住民における栄養・食生活等の生活習慣と、健康との関 連	牛﨑里生